

2015年7月14日

ジャカルタ ジャパン クラブ  
会 員 各 位

ジャカルタ ジャパン クラブ  
邦人安全対策連絡協議会

本協議会から最近の治安状況等についてお知らせいたします。会員各位ならびにご家族、また関係のご出張者におかれましては治安状況等に十分ご留意いただき、掲載の事件・事故と同様の被害に遭われないよう十分ご注意ください、ご周知ください。

\* J J C 邦人安全対策連絡協議会 TEL : 315-0418  
FAX : 3192-5902  
\* 在インドネシア日本国大使館 TEL : 3192-4308

## 1. 冒頭

個人的にレバラン休暇前の雰囲気は初めてであるので、どのような点に注意しなければいけないか等について共有いただけるとありがたい。また、旅行等で移動が多くなるので、安全情報に対しては常に敏感にし、適切な対応を取ることができるようにしておくことが重要。

## 2. 最近の政治・治安情勢

- (1) 政治情勢に関しては、インドネシアの内閣改造が盛んに報じられている。大統領が閣僚のパフォーマンスを評価しており、経済関係閣僚を中心に交代、もしくは他ポストへの横滑りの可能性がある。時期はレバラン休暇後であろう。内閣改造は今後の政策に与える影響、ジョコ大統領と与党との力関係を見る上で重要であるので、引き続き注視していきたい。
- (2) 治安情勢に関しては、ラマダン中は一般犯罪、テロともにリスクが高まっているので注意が必要。ラマダン中のテロを普段のジハード（聖戦）よりも価値があると考えている集団もいる。中東ではテロの回数が増えているが、現時点ではインドネシアでのテロ事案は未発生。
- (3) 7月9日、タンゲランのアラム・ストラモールの男子トイレにて、小規模爆発が発生。犯人は現在も捜索中であるが、イスラム国の考えに触発された人間による犯行の可能性はある。また、本年2月にも別のショッピングモールの男子トイレにて爆発物が見つかる事案が発生しており、両事件に類似性が認められる。対策としては、不審物を見つけたら近づかない、触らない、近くの警備員に報告する等。

### 3. 邦人に関わる最近の事件・事故報告（井口書記官）

- (1) レバラン休暇前ということもあり、車両荒らし、置き引き等金銭目的の犯罪が増加している。邦人が巻き込まれた大きな事件・事故の被害は現時点で報告なし。防犯対策はもちろんのこと、生命、身体の安全を第一に行動していただくようお願い申し上げます。
- (2) 旅行等で不在にされることが多いと思うが、空き巣による犯罪にも注意していただきたい。確実な施錠、金庫や職場等安全な場所での現金・貴重品の保管等、対策を十分にしていきたい。
- (3) デモについては、レバラン休暇との関係で、8月上旬までは少ないと思われる。

### 4. 最新の医療事情等（馬場医務官）

この1ヶ月でMER S問題を含め、特段大きな問題はなく、落ち着いている。レバラン休暇中は医療機関も休日になるので、かかりつけの病院等がある場合には、事前に御確認いただきたい。

### 5. 河内領事部長

- (1) 前回6月の本会議において、ゴルフ場でのKITAS不携帯による現金要求の被害に関しての言及があったが、大使館で調べたところではそのような事実はなかった。インドネシア側には、そのような話があった、ということだけは伝えてある。
- (2) インドネシアの観光査証免除に関しては、インドネシア国内の5大空港または4大海港において、観光目的の場合に限り認められる。また、親族訪問の場合には査証免除に該当しないため、VOAの取得が必要。ビントアン島の査証免除対象の海港が貨物専用港で観光客の利用を想定しておらず、このままでは観光客の便宜を図れないため、現在大使館からインドネシア側にこの件に関して申し入れ中。この件はインドネシア側の間違いではないかと思われる。

### 6. 質疑応答、各社（団体）からの報告等

（質問）

パスポート及びKITASの携帯に関して、子供も同様に携帯をした方が良いという理解で良いか。

（回答）（JJC）

その理解で間違いはない。ただ、KITASを持っていることが前提で、KITASを持っていない方は、パスポート原本の携帯の徹底をお願いしたい。

(報告)

VOAについて、大きなトラブルは特になし。入国のみならず、出国の方を含め今後とも注意していきたい。

スカルノ・ハッタ空港での火災後は、多くの空港内の店舗が閉鎖されていたが、先日改めて空港を見ると、一部の店舗は復旧し、営業を再開していた。

火山の噴火の関係では、バリの空港を利用される方の中で一部混乱が発生したが特に大きなトラブルなし。

(報告)

ジャカルタ発の国際線の機内で窃盗事件が発生している由。犯人は主に中国人で、トイレ、就寝中を狙った犯行。犯人は降機後逮捕されたとのこと。飛行機の行き先は、中国の各都市及びベトナムが多く、日本行き便での被害は現時点ではない由だが、注意は必要であると思われる。

(質問)

マンダムの工場火災の件で、情報があれば共有いただきたい。

(回答)

今回の火災は、ガス爆発を伴う大きなものであり、死者も発生している。事件性はなく、単なる事故であると聞いている。

(報告)

今回の火山の噴火に関して、我が社として旅行を控えるような勧告は発出していない。現地の情報を勘案しつつ、旅行者の方に適切な情報を案内していきたい。

(報告) (J J C)

パスポート不携帯問題に関して入国管理局にかけあったところ、総局長の名前でレターが発出された。外出時は、パスポート原本またはK I T A S原本を携帯し、当該レターのコピーも携帯すればより安全かと思われる。

労働関係では、最近労働省から新たな大臣令(2015年/No. 6)が発出された。ポイントは3点。一点目は、就労許可に関して学歴要件がなくなったこと。二点目は、企業は外国人労働者1人の雇用につき、インドネシア人労働者10人以上の雇用が義務づけられたこと。三点目は、非インドネシア居住者の取締役及び監査役に関しても就労許可を取得する必要が発生したこと。